

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称：一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市真田町長 6918 番地 1
評価実施期間：H30年10月1日からH31年2月28日 * 契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載）  061243、B18052	

### 2 福祉サービス事業者情報（平成30年7月現在）

事業所名：青木村立青木村保育園 (施設名)	種別：保育所
代表者氏名： 青木村長：北村 政夫 (管理者氏名) 園 長：若林 喜信	定員（利用人数）：155名（現員：92名）
設置主体：小県郡青木村 経営主体：小県郡青木村	開設（指定）年月日： 昭和・36年4月1日
所在地：〒386-1601 長野県小県郡青木村大字田沢3294	
電話番号：0268-49-2063	FAX番号：0268-49-2063
ホームページアドレス：hoiku@vill.aoki.nagano.jp	
職員数	常勤職員：28名 非常勤職員：5名
専門職員	(専門職の名称) 保育士 23名 保育士：3名
	栄養士 0名 嘱託医：2名
	調理師 4名
施設・設備 の概要	(居室数)：保育室7、乳児室1 ほふく室0 (設備等)：遊戯室1、トイレ3、調理室1 事務室1、園庭

### 3 理念・基本方針

#### 【青木村教育目標】

「心豊かでたくましい子どもの育成=社会力（生きる力）を育てる」

- ・子どもと向き合う時間を確保し、人と人がつながる力と学力・体力を育て、一人ひとりを大切にする教育を目指す。
- ・保育園、小学校、中学校の一貫教育

#### 【基本方針】

##### 【あおきっ子教育ポイント5か条】

- 1、一日のスタート・・・早寝、早起き、朝ごはん、元気に歩いて登園登校
- 2、あいさつ・・・思いきって言ってみよう、互いに、にっこり、いい気分
- 3、時間の使い方・・・自ら、こつこつ、家庭学習
- 4、働き学ぶ・・・親子いっしょにお手伝い。想創ふくらむ読書の時間
- 5、豊かな体験・・・挑戦し、感動し、人とふれあい、共に成長

### (青木村保育園目標)

「明るく元気に遊べる子」

- 1、明るい子・・・素直で心温かな、他人を思いやれる子
- 2、元気な子・・・少々のことにはこたれない、健康な身体の子
- 3、遊べる子・・・ルールを理解し、いろいろな人と関われる子

## 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

### 【青木村の特徴】

○青木村は、長野県の東北部、小県郡の西部に位置し、東南に上田市、西に松本市、北に東筑摩郡筑北村の3市町村に隣接しています。

○青木村は、三方を山に囲まれた山間地帯にあり、北に子檀嶺岳、西に十観山、南に夫神岳の青木三山は、昔から村のシンボルとして、村民から愛され親しまれている緑豊かな山並みを形成しています。また、南方の大明神岳、青木峠から保福寺峠までの主峰滝山を含む屏風上の滝山連峰は、青木村の周囲を囲み、雄大な自然を育んでいます。村のほぼ中央を浦野川が貫流し、三方の山に源を発する田沢川、湯川、沓掛川、阿鳥川が合流して千曲川に注いでいます。

○村内からは、縄文時代の遺跡も出土し、古から人が定住し、歴史ある村であることが伺えます。また、古くから、夕立と騒動は青木からと言われているように、江戸時代から明治にかけて5回もの農民一揆が起こり、一地域としては日本でも最も一揆が多発した村です。現在も正義を貫いた先人を誇りとして義民太鼓を大事にして、村を挙げて義民の顕彰をし、保育園でも義民太鼓の伝承活動を取り入れています。

### 【青木村保育園の特徴】

○保育目標には、「明るく、元気で、遊べる子」を掲げ、戸外活動と体力作りの一貫として、村内お散歩マップを作り、青木村の史跡めぐり、川遊び、あおきっ子広場等に出かけ様々な体験活動をしています。お散歩マップには、四季折々の自然が楽しめる場所が収められ、春は梅、桜のお花見から始まり、5月のツツジ、6月の花菖蒲の花の中で体力作りと戸外活動を楽しんでいます。夏には、セミの声で賑わい、秋にはコオロギの音色を聴き、あおきっこ広場では、山羊や羊と触れ合うことで、園児たちは洞察力と優しい感性を培われます。

○園の畑では、ジャガイモ、カボチャ、トマトなどを収穫し、昼食に添えて提供することで園児の食育を養っています。

○年長児は、小学校就学に向けて青木小学校1年生との定期的な交流活動をしています。小学校の運動会への招待参加やハロウィンの仮装パレードでは、保育園と小学校の合同チームで、教育委員会や役場を訪問すること等で、自然に就学の準備を図っています。

○伝承遊び活動として、民生児童委員や祖父母の皆さんにお手伝いをしていただきながら、太鼓、お正月のお餅つき、お正月遊び、まゆだま作り等に取り組んでいます。

○地域交流事業も活発に行われ、近くの高齢者施設への訪問交流、高齢者体育祭への参加、村のヤンレいきいやしよ運動会への参加、小中学生や短大・大学生との定期的な交流、年2回保育園を解放し、未就園児交流会を開催し定着しています。

## 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初回
---------------	----

## 6 評価結果総評（利用児調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

**①地域との関係が適切に確保され、子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。**

○村の教育大綱には、「村の子どもは村で育てる」「一人の子どもを育てるには村一つが必要」と明示し、青木村子育てフォーム事業により、村をあげて子育てをしていこうとい基本的考え方が明文化されています。

○戸外活動は、お散歩マップがあり、村地域の全域の資源が詳しく掲載され、計画的に実施され、村民ほとんどの住民と接する機会を設けています。

○園児は、伝承文化の義民太鼓で、村の運動会や敬老会、高齢者施設等を定期的に訪問し、交流を深めています。

**②職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。**

○園長は、村の教育委員会や住民福祉課と連携しながら職員の就業状況の把握、配慮等の労務管理を適切に実施するように努めています。

○園長と主任保育士は、保育の質の向上のための、職員の心身の健康と安全の確保、ワークライフバランスに配慮した職場環境作りのために、日常的に職員の意見を聞き、働きやすい職場作りに努めていることをインタビューで伺うことができました。

○毎年度、村の教育委員会の教育長との職員の個別面談の機会が設けられ、職員は自由に意見や要望を言える機会がある。

○職員の定着率が高く、職員インタビューでは、多数の職員から「働きやすい職場」とのコメントがありました。

**③信州型自然保育園に認定されて、戸外活動で地域との交流を日常的に深めています。**

○特に戸外活動の目的をしっかりと持ち、自然物を集めたりその自然物を制作や標本に生かすなど、イメージを膨らませて触れたり加工するなどして楽しむことができている、自然保育が十分に体験型として生かされています。

○年長児が和太鼓の演奏に取り組んでおり、習得までの過程で最後まで頑張る心や友だちと力を合わせる心地よさ、またみんなでできた！という達成感を味わうことができ、大きな自信や自己肯定感が育っています。園内の小さい子どもたちも憧れの気持ちを持ち、年長児もバチの引継ぎや技術を教える、など優しい気持ちが育っています。

**④地域の福祉ニーズにもとづく公益的事業・活動が行われている。**

○村の教育委員会の子育て委員会は、子育てに関する村民のアンケート調査を定期的に行い、当園の職員も委員のメンバーとして、地域社会における福祉向上の役割を果たすために、地域の具体的な福祉ニーズ（特に保育ニーズ）を把握し、これに基づく保育園独自の公益的事業・活動を行う仕組みがあります。

**⑤小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。**

○村の「保小中一貫教育」に基づいて、教育委員会との連携により、小学校との交流を積極的に行い、子どもが小学校への期待が持てるよう交流の機会を生かしていました。

・必要に応じて小学校での生活体験をしています。

・行事への参加を相互で行っています。

○小学校職員と保育園職員で定期的に情報交換等の連携が行われ、育てたい力、望ましい姿の見通しをもって子どもの発達状況を確認し、特に配慮が必要な子どもへの援助の共通理解が行われています。

◇特に改善が必要と思われる点

**①中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。**

○単年度事業計画は、行事計画的な内容が主になっておりますので、保育計画や中・長期計画を反

映した数値目標や収支計画も明示し、具体的な事業計画内容を図ることをお願いします。

②法人（保育所）の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。

○保育所の人事管理は、理念・基本方針に基づく「期待する職員像」を明確にすることが求められております。訪問調査時の資料やインタビュー、自己評価結果においても、「期待する職員像」の表記は確認ができませんでした。明記をお願いします。

③保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上にさらに努めていただくことを期待します。

○保育所は、保育の質の向上に向けた保育士等の自己評価の実施方法を定め、保育実践の振り返り（自己評価）が保育内容の改善に生かされてることが求められています。自己評価や指導案の評価・反省を生かし、保育の質の向上に向けた組織的な取組が臨時職員も含めた自己評価の仕組みをさらに構築することを期待します。

## 7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目（別添1）
- ・ 内容評価項目（別添2）

## 8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3-1）

## 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）